

2018年産米の収穫予想(7月31日現在)

【作柄(水稻)】◆全国作況102の「やや良」

本社では、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況を予想しました(8月～収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。今後の天候経過によっては上振れ・下振れの余地があり、確定的なものではありません)。

2018年産(平成30年産)の水稻作柄は、一部地域で▽7月豪雨▽台風第7号、第12号の接近・上陸▽5月上旬及び6月中旬の低温一の影響が見込まれるものの、田植期以降、高温・多照で経過していることから、「平年並み」又は「やや良」で推移しているものと見られ、全国の作況指数は102の「やや良」が予想されます。地帯別の作況指数は、北海道、東北、中国、九州及び沖縄が99～101の「平年並み」、関東、北陸、東海、近畿及び四国が102の「やや良」が見込まれます。都道府県別にみると、作況指数99～101の「平年並み」は北海道、青森、秋田、山形など19都道府県、102～103の「やや良」は宮城、福島、新潟、滋賀など28府県が見込まれます。なお、7月豪雨については、岡山、広島及び愛媛県において7月末までに集計された被害相当分を反映しています。

【作付面積】◆水稻推計138万3千ha(主食用米等)

生産調整の取り組み状況や、各県等への聞き取りを踏まえ、本社としては主食用米等の水稻作付面積を138万3千ha、前年産実績比1万3千ha増と推計しました。なお、政府備蓄米、加工用米、新規需要米など生産調整の対象分は収穫予想から除外しています。

【水稻収穫量】◆主食用米等746万6千トン

作況・作付予測に基づく本年産水稻の7月31日現在における主食用米等の予想収穫量は、全国平均で10a当たり540kg、収穫量は746万6千トン、前年産実績比16万トン増と見通しました。

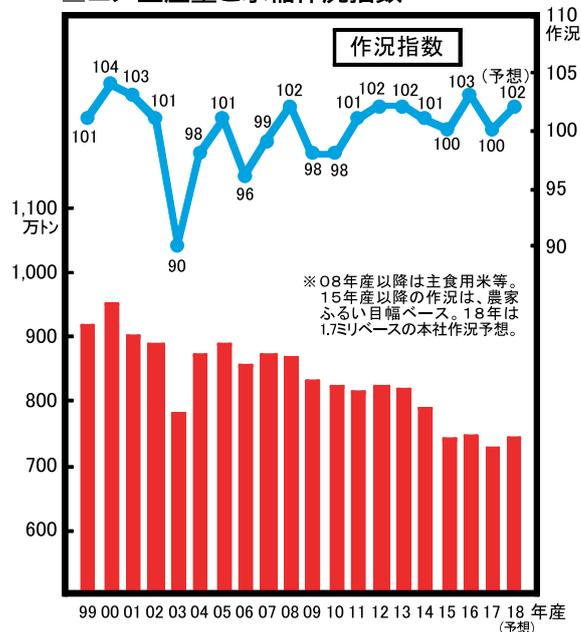
30/31年(平成30年7月から31年6月)における主食用米等の供給量は、30年6月末の在庫190万4千トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えて937万トンと見込まれます。農水省が基本指針で策定した需要見通し741万1千トンを差し引くと、31年6月末の在庫は195万9千トンと見込まれます。今期より5万5千トン増となる計算ですが、近年トレンド以上の消費減が続いており、上振れする可能性もあります。

【表1】全国の収穫予測(主食用米等)

			2018年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,384,000	13,000	101.0%
	収穫予想	t	7,468,000	160,000	102.2%
水稻	作付面積	ha	1,383,000	13,000	100.9%
		kg	540	6	101.1%
	収穫予想	t	7,466,000	160,000	102.2%
陸稲	作況指数		102	-	-
	作付面積	ha	690	▲ 123	84.9%
		kg	231	▲ 5	97.9%
	収穫予想	t	1,590	▲ 330	82.8%

(注)加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。作況指数の前年差・比は、農水省公表の農家等ふるい目幅の基準が異なるため、表記せず。

■ コメ生産量と水稻作況指数

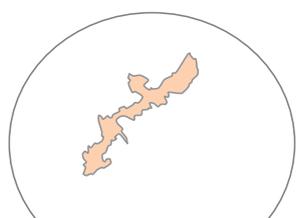
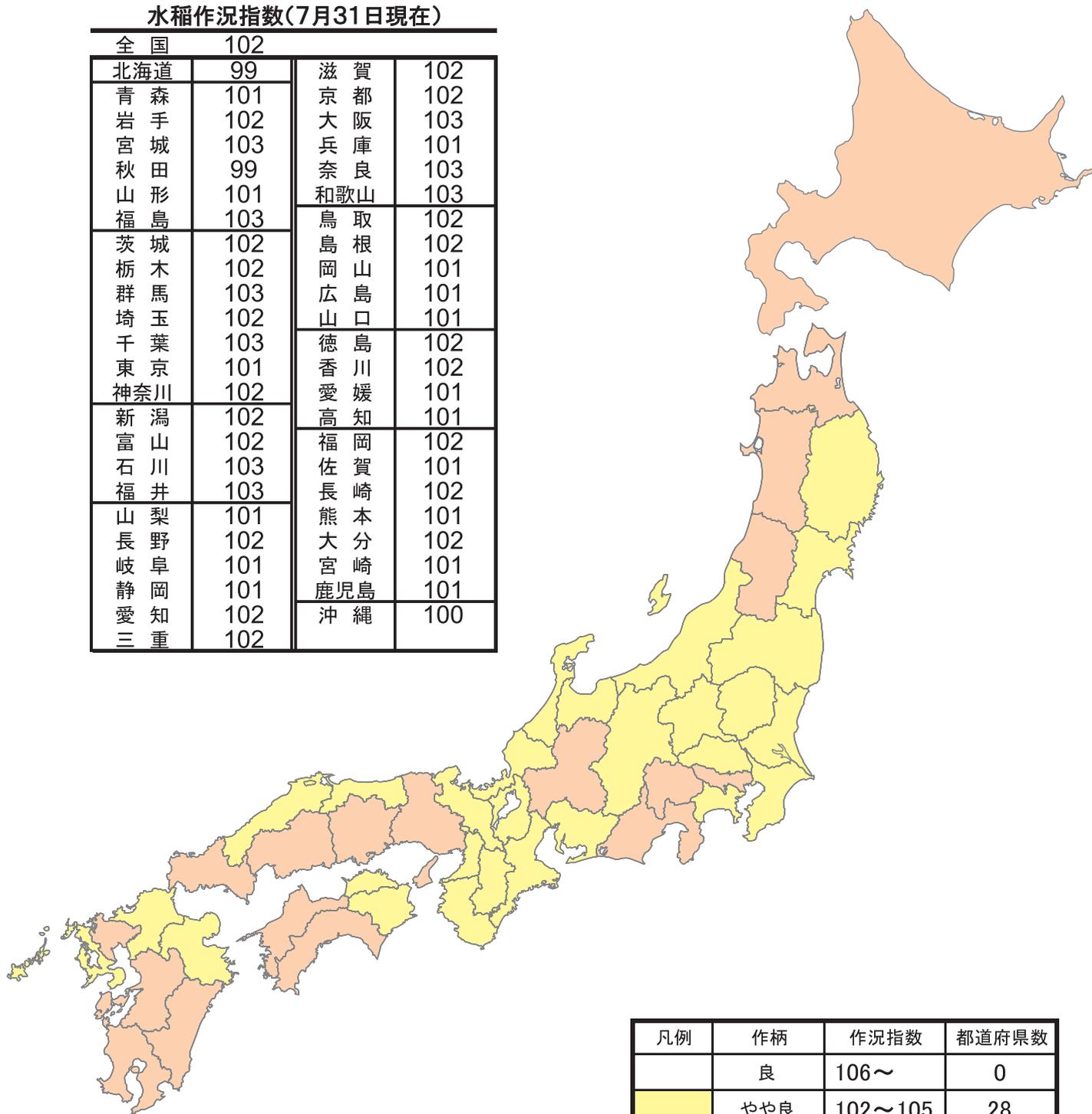


2018年産水稲の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稲作況指数(7月31日現在)

全 国	102		
北海道	99	滋 賀	102
青 森	101	京 都	102
岩 手	102	大 阪	103
宮 城	103	兵 庫	101
秋 田	99	奈 良	103
山 形	101	和 歌 山	103
福 島	103	鳥 取	102
茨 城	102	島 根	102
栃 木	102	岡 山	101
群 馬	103	広 島	101
埼 玉	102	山 口	101
千 葉	103	徳 島	102
東 京	101	香 川	102
神 奈 川	102	愛 媛	101
新 潟	102	高 知	101
富 山	102	福 岡	102
石 川	103	佐 賀	101
福 井	103	長 崎	102
山 梨	101	熊 本	101
長 野	102	大 分	102
岐 阜	101	宮 崎	101
静 岡	101	鹿 児 島	101
愛 知	102	沖 縄	100
三 重	102		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
	やや良	102～105	28
	平年並み	99～101	19
	やや不良	95～98	0
	不良	～94	0

[表2]2018年産水稻(主食用米等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a予想収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全国	1,383,000	540	102	7,466,000	160,000
北海道	99,000	543	99	537,200	▲ 15,000
青森	39,400	596	101	234,500	8,000
岩手	48,500	547	102	265,200	14,700
宮城	64,000	550	103	352,000	12,300
秋田	74,300	567	99	421,500	22,600
山形	56,400	602	101	339,500	2,200
福島	61,900	560	103	346,800	17,900
茨城	67,200	534	102	359,200	10,600
栃木	54,000	551	102	297,400	24,000
群馬	13,800	510	103	70,400	1,000
埼玉	30,700	500	102	153,400	1,700
千葉	53,800	556	103	299,200	12,800
東京	135	418	101	560	▲ 20
神奈川	3,070	504	102	15,500	▲ 200
新潟	104,100	554	102	576,600	49,000
富山	33,300	551	102	183,400	1,600
石川	23,300	535	103	124,600	4,200
福井	23,200	534	103	123,900	1,600
山梨	4,830	552	101	26,700	▲ 100
長野	31,000	631	102	195,700	▲ 1,200
岐阜	21,500	493	101	106,000	1,100
静岡	15,700	526	101	82,600	2,300
愛知	26,500	517	102	137,000	800
三重	26,700	510	102	136,200	7,600
滋賀	29,900	528	102	158,000	2,900
京都	14,000	521	102	73,000	1,100
大阪	5,000	508	103	25,400	▲ 700
兵庫	35,500	507	101	180,000	4,100
奈良	8,500	527	103	44,800	100
和歌山	6,500	508	103	33,000	▲ 300
鳥取	12,800	524	102	67,100	2,600
島根	17,200	521	102	89,600	300
岡山	29,100	530	101	154,200	▲ 4,100
広島	22,800	529	101	120,600	▲ 2,800
山口	18,800	509	101	95,700	▲ 4,900
徳島	11,300	483	102	54,600	400
香川	12,500	506	102	63,200	1,200
愛媛	13,700	505	101	69,200	▲ 1,400
高知	11,400	463	101	52,700	▲ 1,500
福岡	35,100	506	102	177,600	▲ 1,100
佐賀	24,200	524	101	126,900	▲ 2,700
長崎	11,500	490	102	56,300	▲ 1,100
熊本	32,300	518	101	167,100	▲ 2,600
大分	20,700	512	102	106,000	200
宮崎	14,500	501	101	72,600	▲ 2,300
鹿児島	18,700	487	101	91,000	▲ 4,300
沖縄	710	309	100	2,190	0

[注]面積は本社推定。備蓄米、加工用米、新規需要米等は含まず。10a予想収量は、ふるい目幅1.7mm基準で、作況指数は農水省が採用する農家使用のふるい目幅ベースと異なる。

(参考)

米穀データバンクの作況予測の推移

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
5	93	(8/15) 95	74
6	108	(8/15) 105	109
7	100	(8/15) 100	102
8	100	(8/15) 101	105
9	103	(8/15) 102	102
10	97	(8/15) 99	98
11	103	(8/15) 103	101
12	103	(9/1) 103	104
13	102	(9/15) 103	103
14	102	(9/15) 101	101
15	94	(9/15) 92	90
16	103	(9/10) 101	98
17	100	(9/15) 102	101
18	96	(9/15) 97	96
19	99	(9/15) 99	99
20	102	(9/15) 102	102
21	96	(9/15) 98	98
22	102	(9/15) 99	98
23	101	(9/15) 101	101
24	102	(9/15) 102	102
25	100	(9/15) 102	102
26	102	(9/15) 101	101
27	100	(9/15) 100	100 [100]
28	100	(9/15) 103	103 [102]
29	102	(9/15) 100	100 [100]

[注]本社予測は、5年産は早場13道県で8月10日現在。6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況は8/15は文字情報に変更し、9/15現在からの公表になっています。12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、16年産は9/10現在に変更されています。なお、農水省は平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況公表に変更しています。[]内は、従来の1.7ミリ基準で計算した場合の作況指数です。本社は1.7ミリ基準で予想しています。